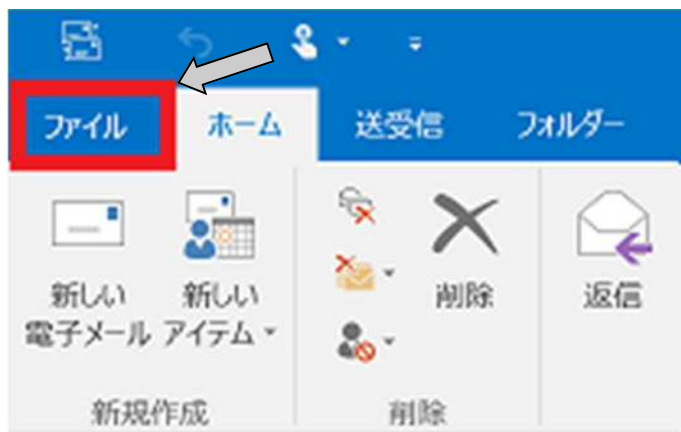


# Outlook2016 SMTP AUTH 認証設定方法

MicrosoftOfficeOutlook2016



ファイルタブを選択し、

「アカウント設定」「アカウントの設定(A)」をクリックします。



「電子メールタブ」を選択し、設定を行うメールアカウントを選び、「変更」をクリックします。

# Outlook2016 SMTP AUTH 認証設定方法

アカウントの追加

POP と IMAP のアカウント設定  
お使いのアカウントのメール サーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報  
名前(Y): 仙台CATV  
電子メール アドレス(E): test@ve.cat-v.ne.jp

サーバー情報  
アカウントの種類(A): POP3  
受信メール サーバー(I): pop.ve.cat-v.ne.jp  
送信メール サーバー (SMTP)(O): mx.cat-v.ne.jp

メール サーバーへのログイン情報  
アカウント名(U): test@ve.cat-v.ne.jp  
パスワード(P): \*\*\*\*\*

パスワードを保存する(R)

メール サーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)

アカウント設定のテスト  
アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。  
アカウント設定のテスト(T)  
 [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする(S)  
新しいメッセージの配信先:  
 新しい Outlook データ ファイル(W)  
 既存の Outlook データ ファイル(X)

詳細設定(M)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

1)受信メール(I)の項目に  
「pop.\*\*.cat-v.ne.jp」

2)送信メール(SMTP)の項目に  
「mx.cat-v.ne.jp」

3)アカウント名(U)の項目に  
「\*\*\*@  
\*\*.cat-v.ne.jp」

と入力し、「詳細設定」をクリックします。

4)「送信サーバ」タブを選択する。

「送信サーバ(SMTP)は認証が必要」の項目と、「受信メールサーバと同じ設定を使用する」の項目にチェックを入れます。

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバ 詳細設定

送信サーバ (SMTP) は認証が必要(O)

受信メール サーバーと同じ設定を使用する(U)

次のアカウントとパスワードでログインする(L)

アカウント名(N):  
パスワード(P):

パスワードを保存する(R)

セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(Q)

メールを送信する前に受信メール サーバーにログインする(I)

OK キャンセル

# Outlook2016 SMTP AUTH 認証設定方法

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー **詳細設定**

サーバーのポート番号

受信サーバー (POP3)(I): **110** 標準設定(D)

このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要(E)

送信サーバー (SMTP)(O): **587**

使用する暗号化接続の種類(C): なし

サーバーのタイムアウト(T)

短い  長い 1分

配信

サーバーにメッセージのコピーを置く(L)

サーバーから削除する(R) 14 日後

[削除済みアイテム] から削除されたら、サーバーから削除(M)

**OK** キャンセル

「詳細設定タブ」を選択する。

送信メール(SMTP)のポート番号に「587」を入力し、OKをクリックする。前ページ下段の設定画面に戻りましたら、「次へ」をクリックして進めていただき、完了となります。